

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月12日

事業所名：網走市こども発達支援センター（ふわり）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0		プレイルームが狭いため遊具の配置の工夫により距離の確保に努める。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	1	5		より丁寧な支援を行うため、適切な職員数の配置や専門職の配置を行っていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	2	子どもの特性に合わせた環境づくりに努めている。	バリアフリー化について、施設の構造上、対応が難しいものもあるが、可能な限り対応を検討する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	3	0	子どもの特性に合わせた環境づくりに努めている。	近年の気温上昇に対応するため、冷房機器の設置を検討する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	3		外部評価の実施について検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	全職員が研修に参加できるよう計画を立て、研修を受けている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	計画期間ごとにアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	ガイドラインに沿った児童発達支援計画書となるよう努めている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	子ども一人ひとりの状態や特性に合わせ職員間で協議し指導を工夫している。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	子ども一人ひとりの状態や特性に合わせ職員間で協議し指導を工夫している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	子ども一人ひとりの状態や特性に合わせ職員間で協議し指導を工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	1	3		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	支援の事前打合せは毎回実施し、職員間での情報共有と共通理解を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	0	振り返りや反省を行い、職員間での情報共有に努めている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	指導の内容を記録し反省・検証につなげている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	保護者と話し合い6ヶ月毎にモニタリングをしてニーズに合わせて見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	保健センターや子育て世代包括支援センターと連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	3	0		現在、対象者はいないが、必要に応じて各関係機関と連携し、情報共有して支援を行う。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	4	0		現在、対象者はいないが、必要に応じて電話や訪問等により情報共有に努める。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	必要に応じて連絡帳や電話、訪問等を通して情報共有に努めている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	保護者の了解の下、必要に応じて移行支援を行い、子どもが安心して新しい環境で過ごせるように相互理解に努めている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	旭川療育センターや美幌療育病院と連携を図り、必要に応じて助言、指導を受けている。	近隣の子ども発達支援センターとの連携も検討する。

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	5		施設の特性上、機会を設けられていないが、課題と認識しており、利用者のニーズや必要性に応じて検討していく。
	㉑ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	3	協議会には参加していないが、保健師・子育て支援センター・保育園・子育て世代包括支援センターとの連携会議を行っている。	協議会等への参加について、積極的に参加するよう努める。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	指導での様子や発達・成長について保護者と確認し共通理解を図っている。	
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	2	3	相談を受けた際、一緒に方法を考えて情報提供している。	家族支援について、より推進していく。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	3	0	相談時や契約時に説明している。	
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	支援計画書を見てもらい、説明を行って同意を得ている。	
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	通所時などに話を聞き必要な情報や助言などを通し、悩み等一緒に考えるよう努めている。	
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	0	保護者間の情報交換や親睦を深める企画（ふわりカフェ）を定期的に開催している。	引き続きふわりカフェを実施する。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	迅速かつ適正に対応できるように努めている。	
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	センターだよりを毎月発行している。	
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0		
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	視覚情報支援（絵カード・写真等）や情報伝達等の配慮ができるように努めている。	
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	7		施設の特性上、難しい面があるが、課題と認識している。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	1	年2回避難訓練を行っており、地震・津波を想定した避難訓練も新たに行った。また、感染症対応の研修を受け職員間で確認しており、感染症に関するプリントも配布している。	順次、必要なマニュアルを作成し具体的な対応策を周知する。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	避難訓練は年2回定期的に行っており、地震・津波を想定した避難訓練も新たに行った。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	相談時や契約時に子どもの状況について確認している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	2	こどもの記録にアレルギー有無を記載欄を設けている。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	1	6	事例集はないが報告により情報共有を行っている。	引き続き、報告による情報共有を行うとともに、事例集の作成について検討する。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	0	虐待防止に関する研修会の参加に努めている。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3	2	これまで身体拘束を行う状況にならなかったことがないため計画への記載はない。	身体拘束等を行う際には、身体拘束等の適正化のための指針に基づき、必要な手続きをとる。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。